

各支部長 新春のご挨拶



旭川支部 支部長
堂 下 和 博

新たな年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

旭川支部はご存じのとおり、北は稚内から南は富良野まで南北に長く、その距離は東京・名古屋間に匹敵します。会員数は個人162名とここ数年微増していますが、一方で留萌振興局管内はわずか3名の会員と、心配な状況にあります。今年は留萌地域での入会者を増やしていくよう、支部として各方面に働きかけていく所存です。何か情報がありましたら、ぜひ当支部まで提供をお願いします。

さて、世相を表す漢字が毎年選ばれますが、昨年12月には「金」が選ばれました。“きん”あるいは“かね”にまつわる話題が賑わった年でもありましたが、旭川では北口榛花選手のオリンピック金メダルの獲得により市中パレードが実施され、市民が一目見ようと大勢集まりました。今年9月には、東京2025世界陸上が予定されていますが、パリオリンピックに続く活躍を期待したいと思います。

また、旭川では今年、全国規模のイベントが行われます。1911年より約4年に一度、全国各地で開催されるお菓子の祭典「全国菓子大博覧会」が5月30日から6月15日までの17日間、旭川市道の駅や大雪クリスタルホールを主会場に行われます。全国各地を巡って行われてきた伝統の大イベントが、57年ぶりに北海道で開催されます。

会期中は地元・北海道をはじめ伊勢路の名物として知られる「赤福」など、全国の和洋菓子の販売などが行われる予定となっていますので、スイーツ好きの方には外せないイベントです。ぜひ旭川にお越しください。お待ちしております。



網走支部 支部長
池 田 真 哲

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

日頃より当支部の活動に対しまして、多大なるご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

昨年はパリオリンピックが開催され、日本選手団は過去最多の金メダルを獲得し、日本国中に感動の渦を巻き起こしました。特に陸上やり投げの北口選手の金メダルは、道産子ということもあるせいか、すっかり感情移入してしまい、早朝から目頭を熱くしました。旭川で開かれた凱旋パレードにも行ってまいりましたが、どんなどきも笑顔を絶やさない北口選手の人柄に、つつい癒されてしまいました。

さて、今年度の支部活動では、入会3年以内の新入会員に向けて、研修会を開催いたしました。当支部の会員数は、ここ3年間で18名の入会があり、久しぶりに90名となりました。内容としましては、支部活動の紹介や兼業会員(司法書士、社労士)による行政書士業務の講義、3つのグループに分かれて、支部役員による事務所経営のディスカッションを行いました。参加された新入会員からは、特にグループディスカッションが好評で、身近にいる行政書士がどのような業務を行っているかということ、直接聞くことができたことが良かったのかもしれない。今後も何年かごとに開催することを検討したいと思います。

また、先月には札幌支部の長野源太先生をお招きして「特殊車両通行許可申請」について支部研修会を開催いたしました。これまでの支部研修では無かった6時間の講義ということもあり、参加者の体力が少し心配ではありましたが、長野先生の業務に対する造詣の深さや実演を交えての講義ということもあり、時間を感じさせない、充実した内容の研修会となりました。遠路はるばる6時間かけて北見までお越しいただきました長野先生には、この場をお借りして感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後になりますが、本年も昨年同様、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。